

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書住民人権課  
77p

大事業名	女性懇話会運営事業		款	項	目
			総務費	総務管理費	企画費
総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	まちづくりへ参画できる仕組みの充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	住民参画・協働の仕組みづくり		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

## 1.概要

事業内容	豊能町で暮らす女性が個性と能力を十分に発揮できる活動の場を自ら見つける支援をする
対象	住民
意図・目的	様々なライフステージにおいて自分なりの活動をしようとする女性を支援することによって、人と人、人と地域が繋がり、豊能町のまちの活性化に繋がる

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 女性懇話会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍推進事業を検討する庁内の横断的なPTと3つのWGの設置による体制づくり</li> <li>女性が町内で働き・楽しみ・集いながら心身とも充実した暮らしを送るための多様な事業の検討</li> </ul>	0	95	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>【はたらく場づくりWG】子育てしながら働けるテレワークを主とした企業やウェブサイト運営の個人会社にヒアリングをした。今後の事業の方向性を検討。</p> <p>【女性がたのしむまちづくりWG】女性がたのしく豊能町で暮らすまちづくりを考え、誰もが参加できるマルシェ事業について住民アンケート調査を実施した。結果、マルシェ支援事業を進める方向性が見えてきた。</p> <p>また、人権啓発事業のふれあいフォーラムにおいて、女性の生き方をテーマに講座を実施したことで、次年度に繋げるよう事業を展開することができた。</p> <p>【つどいの場づくりWG】こども・子育て世代、多世代交流の場づくりを実施するにあたり、各課で情報や課題を共有した。</p> <p>印刷製本費：59,179円 消耗品費：18,276円</p>
--

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
中長期的な課題	進捗管理	無	【はたらく場づくりWG】雇用、就労の場の創出などの高いハードルをクリアするための体制づくりとノウハウの習得	【はたらく場づくりWG】雇用、就労、起業等の確保はもともと高いハードルであるため。
	事業内容	有	【女性がたのしむまちづくりWG】人材育成事業：一定の時間を要する人材育成をいかに継続して実施するか。	【女性がたのしむまちづくりWG】人材育成事業：自分に対する意識改革でもある事業なので一定の時間を要する。マルシェ支援事業：マルシェをやりたいというトヨノドリームの被採択者に対する支援事業であり、主体は住民であるため。
	費用対効果	無	マルシェ支援事業：マルシェ実施主体の組織の成長をどのように町が支援できるか。	
中長期的な課題	進捗管理	無	いずれの事業も、持続可能なレベルまで到達すること。	担い手が変われば、事業が継続しないなど、しばしば事業の設計などに見通しの困難性があり、持続性の確保が難しいこと。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

<p>【はたらく場づくりWG】体制の再構築やノウハウを習得するための外部機関との連携や情報収集に努める。</p> <p>【女性がたのしむまちづくりWG】</p> <p>人材育成事業：複数年度の事業計画により、時間をかけて「わたしが変われば、地域が変わる」というキーワードをもとにした地域の人材育成を図る。</p> <p>マルシェ支援事業：住民主導型としてトヨノドリーム被採択者と事業の方向性を共有し、町は支援する立場で計画を進めるよう展開していく。</p>
--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 83p

大事業名	防犯等事務事業		款	項	目
			総務費	総務管理費	自治振興費
総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	[総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]		
	基本施策	安全安心な暮らしの確保			
	施策	防犯・交通安全対策の推進			
	総合戦略				
個別計画					

1.概要

事業内容	地域防犯及び防犯灯、防犯カメラ新設等に係る自治会等への補助金交付
対象	自治会等を含む町全体
意図・目的	犯罪のない明るく住みよい町づくりに寄与する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 防犯等事務事業	豊能町内の地域防犯に関する事業。主に地域防犯と防犯灯への補助金交付事務を行う。 ・地域防犯に関する事務 ・LED防犯灯新規設置への補助 ・春、秋の地域安全運動の実施 ・町防犯委員会及び豊能防犯協議会との連携	1,089	1,042	0
2 防犯カメラ設置補助事業	防犯カメラを設置する自治会に対し、1台あたり上限を20万円としてその設置費の一部を補助する。(合計5台分を予算計上。)	7,000	1,000	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

①LED防犯灯新設経費に対する補助 ○補助自治会数=5 ○補助防犯灯数=8基 ○補助金額=148,608円	③防犯活動団体に対する補助等 ○豊能防犯協議会負担金 600,000円 ○豊能町防犯委員会補助金 176,000円
②防犯カメラ新設経費に対する補助 ○補助自治会数=1 ○補助防犯カメラ数=5台 ○補助金額=1,000,000円	

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	事業内容	
現状の課題	有	オレオレ詐欺等の特殊詐欺対策において、たんぼぼメールによる注意喚起には限界があり、高齢者への啓発や注意喚起の手段として十分ではないこと。	・犯罪グループの存在 ・特殊詐欺事案の大幅な増加
中長期的な課題	有	同上	同上

5.総合評価

<b>B</b>	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要 B:小事業について、事業の進め方に改善が必要 C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

広報とよのにおいて、特殊詐欺対策記事の掲載に専用頁で対応。町防犯委員会研修会においては、特殊詐欺対策にテーマを絞って研修会を実施するなど重点的に注意喚起や啓発に取り組む。老人福祉センターや町老人クラブ連合会等と連携し効果的な防犯啓発を模索し対応していく。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算審住民人権課  
83p

大事業名	行政連絡協議員会事務事業		款	項	目
			総務費	総務管理費	自治振興費
総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	まちづくりへ参画できる仕組みの充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	住民参画・協働の仕組みづくり		自治会加入率 90%	
	個別計画			[その他]	
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援				

## 1.概要

事業内容	行政連絡協議員会議の開催
対象	行政連絡協議員（各自治会長）
意図・目的	町行政の円滑化と町内各地区との連絡を緊密にして自治振興を図る

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 行政連絡協議員会事務事業	年3～4回程度の会議の開催	1,344	1,344	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

行政連絡協議員会議開催状況		
4月20日		
2月16日	計2回	
行政連絡協議員会に要した主な経費		
行政連絡協議員報酬 14名（委員報酬）		1,344,000円
※会議開催時以外でも、各課の業務執行にかかる連絡・調整など、日常的に地域と行政をつなぐ重要な役割を果たされている。		

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

## 5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

## 6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 83p

大事業名	事業		目
	款	項	
自治会運営支援事業	総務費	総務管理費	自治振興費
総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	まちづくりへ参画できる仕組みの充実	
	施策	住民参画・協働の仕組みづくり	[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援	
個別計画		[その他]	

1.概要

事業内容	自治会運営の補助・支援
対象	住民
意図・目的	地域における自治会活動を支援し、自治意識の向上と地域振興を図る

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 自治会運営支援事業	各自治会活動に対する支援を行う	1,254	1,254	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

自治会運営補助	
・14自治会に対する助成金（補助金）	1,254,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定	
	進捗管理	無	自治会加入率の低下 ※平成29年4月時点での14自治会全体の平均加入率が75%で、前年77%より低下している。	人口減少や少子高齢化などによる地域コミュニティのつながりの希薄化や空き家の増加
事業内容	有			
費用対効果	無			
中長期的な課題	進捗管理	無	自治会加入率の低下や空き家の増加などにより、自治会活動も低下し、地域コミュニティを維持することが困難になり、防犯・防災・地域の緩やかな見守りなど安心した暮らしに支障が出てくる。	人口減少や少子高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

C	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

OH30～31年度の取り組み 総合戦略アクションプラン3「つなぐ・つながる場をつくる」、4「地域による総合戦略の推進」のスキームを地域において進めていく。
--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 87p

大事業名	戸籍事務等窓口業務事業		款	項	目
			総務費	戸籍住民基本台帳費	戸籍住民基本台帳費
総合計画	政策	住民と行政との信頼・協働によるまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	安定的な行政運営の推進			
	施策	行政経営の推進		[総合戦略(目標年度H31)]	
	総合戦略				
個別計画			[その他]		

1.概要

事業内容	住民基本台帳・戸籍事務等の交付事務
対象	住民他申請者
意図・目的	住基・戸籍事務等の窓口業務を適正かつ迅速に対応し、住民サービスの向上を図ることを目的とする。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 戸籍事務等窓口業務事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸籍の謄届の受付・編成、戸籍、除籍の謄抄本証明の交付</li> <li>住民移動の謄届の受付、住民票等の交付</li> <li>印鑑登録及び証明書の交付</li> <li>戸籍事務等の窓口業務を適正かつ迅速に対応し、住民サービスの向上を図る</li> </ul>	9,239	9,228	24
2 旅券発給事務に係る窓口対応業務事業	旅券発給事務に係る窓口対応業務の実施。	0	2,153	935

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

窓口での各種証明書交付事務の執行	
・戸籍システム更新整備事業（機械器具使用料）	8,563,440円
旅券発給事務に係る窓口対応業務	
・一般旅券の申請受理に関する事務委託経費（H29年7月～）	1,808,000円
・備品購入費	215,784円
（H29年7月～H30年3月までの申請件数 530件 月平均58件）	

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

※証明書等の交付事務であり、法令に従った適切な運用が求められるため、事務事業の改善という観点が見えにくいですが、職員のスキルアップと人事異動に際した職員間のスキルの引継ぎと維持が必要である。

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
住民人権課  
89p

大事業名	住基ネットワーク運営事業	款	項	目
		総務費	戸籍住民基本台帳費	戸籍住民基本台帳費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	暮らしを支える都市基盤の維持・整備		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	情報通信基盤の整備		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	住民基本台帳ネットワークシステムの運用保守業務を行う。
対象	住民他申請者
意図・目的	ネットワークシステムの運用保守を適切に行うことで、マイナンバーカードを利用した住民基本台帳の窓口サービスを行う。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 住基ネットワーク運営事業	住民基本台帳ネットワークシステム関連事務、窓口業務を適正に対応し、住民サービスの向上を図る。	3,350	3,342	0
2 住基ネットワーク改修事業	マイナンバーカード等の記載充実のための住基ネットワークシステムの改修	0	848	847

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

窓口での個人番号（マイナンバー）カード交付事務の執行
・住民基本台帳ネットワークシステム運用保守等業務（業務委託料） 486,000円
・住民基本台帳ネットワークシステム機器賃借料（機械器具使用料）2,780,820円
住基ネットワークシステム改修（マイナンバーカードや住民票の記載内容充実）
・住民基本台帳ネットワークシステム改修業務（業務委託料） 847,800円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	有	マイナンバーカードの交付が全国的に進んでいないこと。 ※マイナンバーカード交付率 全国平均10.7%、大阪府平均11.0%、 豊能町15.3%（H30.3.1時点）	・マイナンバーカードに対する一般的な認知度が低い ・マイナンバーカードのメリットに対する周知不足
	有	無		
	有	有		
中長期的な課題	無	有	マイナンバーカードの交付が進んだ後のカード利用に伴う更なるメリットの拡充	マイナンバーカード活用のメリットが、今後のインフラ整備の進捗によるため
	有	有		
	有	有		

5.総合評価

B	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○中長期的な取り組み マイナンバーカード交付にかかるPRやインフラ整備の拡充によるメリットの周知。本町においては、マイナンバーカードを取得するメリットを十分に生かせるよう、財政状況と近隣や府下の町村の状況を見ながら、様々なサービスを実施できるよう取り組む必要がある。
--

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書住民人権課  
95p

大事業名	人権啓発推進事業	款		項		
		総務費	人権推進費	人権推進費	人権推進総務費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり				[総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進				
	施策	人権尊重意識の高揚				
	総戦略					
個別計画						

## 1.概要

事業内容	人権問題審議会、生活・人権相談事業（女性相談含む）、町人権まちづくり協会補助など人権啓発の推進を図る
対象	住民
意図・目的	すべての住民の基本的人権が尊重されるまちづくりを目指す

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 人権啓発推進事業	・人権啓発広報 ・人権まちづくり協会への助成・連携 ・生活人権相談事業 ・人権問題審議会開催	3,935	4,069	1,056

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

人権啓発推進に要した主な経費			
町人権まちづくり協会補助金（補助金）		1,498,000円	
主な活動		ふれあいフォーラム	
イベント名など	開催日	参加者数	
人権研修会	11月11日	33人	
人権を考える集い	12月9日	284人	
施設見学会	2月24日	16人	
生活・人権相談（女性問題含む）事業委託（業務委託料）		1,817,165円	相談件数 5件
			3月3日 講師 一般社団法人こころ館 松原明美氏 40人参加 業務委託料 299,160円

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	進捗管理	無	町人権まちづくり協会については、住民主体の人権啓発を推進する団体であるが、各自治会の総会を経て構成されるため、取り組みを開始する時期に制約がある。また、その啓発活動の効果を考えれば、社会的な関心を喚起する企画が必要だが、講演会など講演者のスケジュールを確保するためには単年度では間に合わない状況にも制約がある。	スケジュール上の制約 単年度会計での制約
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	同上	同上
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

○中長期的な取り組み  
上記課題の改善策を検討する

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 97p

大事業名	款	項	目
ふれあい文化センター運営事業	総務費	人権推進費	ふれあい文化センター運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	人権尊重意識の高揚		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	人権啓発の推進及び地域福祉の向上、住民の交流促進を行う。
対象	住民
意図・目的	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点として、地域の実態に即した適切な事業を展開し、人権問題の解決を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1  ふれあい文化センター運営事業	・運営委員会の開催 ・貸し館管理	269	270	1

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

ふれあい文化センター運営に要した主な経費	
啓発活動に要した経費	
大阪府人権福祉施設連絡協議会分担金（負担金）	54,000円
事務費等に要した経費	
コピー代・事務用品代（消耗品費）	121,669円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 97p

大事業名	款	項	目
ふれあい文化センター-管理事業	総務費	人権推進費	ふれあい文化センター運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	人権尊重意識の高揚		[その他]
総合戦略				
個別計画				

1.概要

事業内容	施設の維持管理
対象	施設利用者
意図・目的	地域に密着した福祉施設として、気軽に利用できる人権啓発の学習、啓発と交流の場として開かれた施設を目指すため、施設の維持管理及び充実を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 ふれあい文化センター管理事業	・電気・消防設備等の法令による保守管理 ・施設維持補修など	1,308	1,208	0
2 ふれあい文化センターエアコン修繕事業	2階和室エアコン修理	0	351	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

ふれあい文化センター管理に要した主な経費	
除草清掃（賃金）	16,800円
電気・水道・灯油代（燃料費・光熱水料費）	885,269円
2階和室エアコン修繕代（臨時）	351,000円
電話代（通信運搬費）	47,714円
施設設備等保守管理（保守管理委託料）	161,460円
コピー機リース料（機械器具使用料）	11,275円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の老朽化対策	施設の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

○次年度の取り組み 適切な施設の維持管理を行う
----------------------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 住民人権課  
決算書 97p

大事業名	地域交流促進事業	款		項		目	
		総務費	人権推進費	人権推進費	ふれあい文化センター運営費		
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり		[総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]			
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進					
	施策	人権尊重意識の高揚					
	関連指標						
総合戦略							
個別計画							

1.概要

事業内容	各種の文化教養講座の実施による地域交流の促進
対象	住民
意図・目的	ふれあい文化センターを活用し、教養文化活動等の事業を行い、地域住民等の交流促進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 地域交流促進事業	・長期教室 (生花・茶道・絵画・書道)各1~2回/月 ・短期教室	848	736	169

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

各種教室の開催状況				講師報酬(報償金)	
教室内容	開催回数	生徒数	延べ参加者数		
絵画教室	1回/月	9人	37人	4教室講師分	523,000円
生花教室	2回/月	6人	98人	教材、消耗品費等	213,164円
茶道教室	2回/月	4人	88人		
書道教室	1回/月	6人	44人		

※生徒数については、欠席者も含む

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
住民人権課  
99p

大事業名	地域福祉推進事業	項		
		目	目	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	広く住民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、各々の立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を構築する。
対象	広く住民、豊能地区保護司会、豊能地区更生保護女性会、豊能地区社会を明るくする運動実施委員会
意図・目的	犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組を進め、また、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 地域福祉推進事業	上記3団体への負担金・補助金の交付及び各団体との連携。住民への啓発。	188	188	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>3団体との会議、研修会等での連携をもとに犯罪防止と更生保護に寄与。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊能地区保護司会補助金：72,000円</li> <li>・豊能地区更生保護女性会補助金：44,000円</li> <li>・社会を明るくする運動豊能地区実施委員会負担金：72,000円</li> </ul>
---

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	
	事業内容	無	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
住民人権課  
113p

大事業名	交通安全対策事業	款 項		
		民生費	社会福祉費	交通安全対策費

総合計画	政策	安全・安心のまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安全安心な暮らしの確保		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	防犯・交通安全対策の推進		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	交通安全の啓発
対象	全域、全住民
意図・目的	交通安全の確保

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 交通安全対策事業	各種啓発等	495	523	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 交通安全啓発キャンペーン（春・秋）  
春と秋の「全国交通安全運動」期間中に町内各主要交差点、バス停、並びにスーパーマーケット前等において啓発キャンペーンを実施。
- 迷惑駐車追放合同パトロール（春・秋）  
自治会・豊能警察署・消防署・地域交通安全活動推進委員と合同でパトロールを実施。
- 安全運転講習会の開催（春・秋）  
豊能警察署・豊能交通安全協会と合同で講習会を開催。
- 啓発物品ポケットティッシュの購入・配布
- 豊能交通安全協会負担金

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	進捗管理	無	高齢化に伴い、高齢者事故の占める割合が比較的高い。	高齢化の進行が主な要因ではないかと思われる
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	同上	同上
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

豊能警察署、各自治会、並びに各関係機関等との連携による啓発活動の継続。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書福祉課  
99p

大事業名	事業		社会福祉費	社会福祉総務費
	民生費			
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	[総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]	
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		
	施策	地域福祉の推進		
	関連指標			
総合戦略				
個別計画				

## 1.概要

事業内容	戦没者追悼式の実施。町遺族会への支援。特別弔慰金に関する事務。
対象	戦争による傷病者・遺族。
意図・目的	戦争による傷病者や遺族に対して援護を実施し、社会福祉に貢献することを目的とする。

## 2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 戦没者等援護事務事業	戦没者追悼式の開催、戦没者遺族団体支援を通じて援護を実施する。 戦没者遺族援護の推進。	320	348	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

町戦没者追悼式の開催状況	
開催日時	平成29年10月26日(水)午後2時～3時30分
開催場所	中央公民館 大会議室
対象遺族数	209名
参加遺族数	26名

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	事業内容		
現状の課題	有	無	追悼式参加人数の減少	遺族の高齢化
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	有	無	追悼式参加人数の減少	今後も続く遺族の高齢化
	無	無		
	無	無		

## 5.総合評価

<b>B</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

## 6.改善の方向性

高齢化している遺族との関わり方や追悼式のあり方、参加対象者の範囲拡充などについて、国や府、近隣市町の動向も踏まえ検討する。
---

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

福祉課  
99p

大事業名	地域福祉推進事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画	第3次豊能町地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画		[その他]	

1.概要

事業内容	各福祉関係団体との連携・協力により、援助を必要としている住民に対しての地域福祉ネットワークを構築する。
対象	住民（要支援者）
意図・目的	地域に住み、地域を良く知る住民が主体的に参加・参画し、互いに協働できる「地域福祉の仕組み」を作ることで、地域で支え合う温もりのある福祉社会づくりを構築する。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 地域福祉推進事業	福祉関係機関と連携し、生活弱者の福祉の向上をはかる。	7,183	7,261	4,893

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

福祉関係機関（社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等）と連携し、生活弱者の福祉の向上に寄与することができた。		
コミュニティソーシャルワーカー配置事業	5,800,000円	（相談件数 延べ107件）
町民生委員児童委員協議会支援事業	1,115,000円	

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無	地域福祉ネットワークの維持及び向上	地域福祉に対するニーズの高まり
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無	地域福祉ネットワークの維持及び向上	地域福祉に対するニーズの高まり
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

関係各機関とより連携を図る。
----------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 101p

大事業名	障害者自立支援事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	障害者（児）福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援		
個別計画	第3期豊能町障害者計画・第4期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	障害者の自立と社会参加に資するための施策。
対象	支援を要する住民
意図・目的	障害者総合支援法や豊能町障害者計画等に基づき、障害者の自立と社会参加に資するため、障害福祉サービス等の利用や障害者の日常生活を支援することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害者自立支援事業（補助事業）	障害福祉サービス等にかかる費用を支給することにより、障害者の自立及び社会経済活動への参加を支援する。障害者の自立を支援し、社会参加の機会が増えることにより、障害者福祉施策の推進が可能となる。	234,317	240,469	185,305
2 障害者自立支援事業（単独事業）	障害福祉サービス費支給決定の根拠となる障害支援区分認定事務を行う。また、障害者通所施設（たんぼぼの駅）の管理運営を指定管理者に委託することにより、障害者の日中活動の充実と社会参加の促進を図る。	12,429	13,550	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者に対する、各種の給付により経済的支援を行い、障害福祉サービスの利用支援を行うことにより、自立と社会参加に繋げることができた。	
たんぼぼの家通所者	20名
自立支援給付費等対象延人数	2,136名
補装具費の支給件数	27件
更生医療の給付件数	123件
育成医療の給付件数	2件
重度訪問看護利用料助成利用者数	8名

4.課題整理

現状の課題	課題の有無	課題の内容	要因の特定
	進捗管理		
現状の課題	無		
	無		
	無		
中長期的な課題	無		
	無		
	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
福祉課  
101p

大事業名	障害者相談事業	款 民生費	項 社会福祉費	目 社会福祉総務費
総合計画	政策 元気で暮らせる支え合いのまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]		
	基本施策 安心できる福祉の充実			
	施策 障害者（児）福祉の充実			
総合戦略		[総合戦略(目標年度H31)]		
個別計画	第3期豊能町障害者計画・第4期豊能町障害福祉計画	[その他]		

1.概要

事業内容	障害者の各種相談に応じるにより、自己決定による日常生活や社会生活が可能となるように支援する。
対象	住民（障害者）
意図・目的	障害者の日常生活や障害福祉サービスの利用開始等、様々な相談に応じるにより、福祉制度の情報提供と障害者の日々の生活における困りごとの解決を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害者相談事業	障害者及びその家族等からの相談に対応することにより、障害者の日常生活及び社会生活を支援する。また、障害者虐待に対応するための障害者虐待防止センターを設置する。 障害者が住み慣れた地域で、自己決定による日常生活や社会生活を営むことが可能となる。	2,665	2,873	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者やその家族に対し、障害福祉サービスに関する情報提供や、様々な相談に応じるにより、日常生活の支援を行った。

相談業務の実績

利用者	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	実人数
障害者	1人	0人	3人	19人	1人	0人	1人	25人
障害児	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有	対象者の増加	家庭支援者の高齢化
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

対象者の増加にも対応した相談支援体制の構築が必要である。

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 101p

事業名	障害者地域生活支援事業	款 民生費	項 社会福祉費	目 社会福祉総務費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	障害者（児）福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画	第3期豊能町障害者計画、第4期豊能町障害福祉計画			

1.概要

事業内容	障害者の日常生活を支援する地域生活支援事業の実施。
対象	支援を要する住民
意図・目的	地域生活支援事業を実施することにより、障害者の日常生活と社会参加を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害者地域生活支援事業	障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を効率的・効果的に実施する。 地域の社会資源を活用し、地域の実情に応じたサービスを提供することにより、障害者の自立と社会参加が可能となる。	8,468	6,499	3,312

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・各種事業の実施により、障害者の日常生活を支援するとともに、日常生活用具の給付により、経済的支援を行った。

事業内容	件数
移動支援事業	83
訪問入浴サービス	43
日常生活用具給付	264

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 101p

大事業名	障害者福祉事務事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
	総合戦略			
個別計画	第3期豊能町障害者計画、第4期豊能町障害福祉計画		[その他]	

1.概要

事業内容	各制度における申請書類等の受付を適切に行うことにより、福祉制度の適用につなげる。
対象	住民（障害者）
意図・目的	障害福祉管理システムを活用し、障害者福祉に係る事務を円滑に行うとともに、障害福祉団体の事業活動支援を行い、自主的活動の推進を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害者福祉事務事業	障害者福祉事業を適切かつ円滑に行うため、障害福祉サービス等管理システムを活用した事務処理を行う。また、障害福祉施策の推進のため、障害者団体の行う福祉事業に対して効果的な支援及び補助を行う。 障害者福祉施策の適切かつ円滑な推進により、福祉の増進を図ることが可能となる。	859	865	0
2 障害者総合支援法対応システム改修事業	法改正等に伴う障害者総合支援法対応システム改修を行うことにより、制度の安定かつ適切な運営に資することが可能となる。	904	2,661	225
3 障害者計画等策定事業	第4期障害者計画、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画を策定するため、当事者及び事業者アンケート調査等の結果を踏まえ、障害者計画等策定委員会において検討を行う。 障害福祉施策の目標設定と実施計画の策定を行う。	82	2,700	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

本町で進めるべき障害者福祉施策の基本となる「第4期障害者計画、第5期障害福祉計画及び第1期障害児福祉計画」を障害者計画等策定委員会において検討を行い策定した。また、障害福祉管理システムの改修を行うことにより、事務作業の効率化及び適正化を図ることができた。

- ・障害者団体振興育成補助金…50,971円
- ・障害者総合支援法対応システム保守委託料…388,800円
- ・障害者総合支援法対応システム改修業務委託料…2,545,020円
- ・障害者計画等策定業務委託料…2,376,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

今後も、法改正等に対し適切に対応することが必要がある。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書福祉課  
119p

大事業名	児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	目		
		款	項	目
		民生費	児童福祉費	児童措置費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援サービスの充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

## 1.概要

事業内容	児童扶養手当・特別児童扶養手当に関する事務事業
対象	ひとり親家庭の児童、障害のある児童を監護する父、母、または養育者。
意図・目的	ひとり親家庭、障害のある児童を監護する家庭の生活安定、自立を助け、児童福祉の増進を図ることを目的とする。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 児童扶養手当・特別児童扶養手当事務事業	児童扶養手当(府)や特別児童扶養手当(国)の支給に関する窓口事務を実施する。	31	36	24

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

児童扶養手当、特別児童扶養手当の認定請求受付及び大阪府への進達を遺漏なく行い、児童の健やかな成長に資することができた。
・児童扶養手当 受付件数（現況届を除く）
新規及び府外転入 10件
その他申請 16件
・特別児童扶養手当 受付件数（所得状況届を除く）
新規及び府外転入 2件
その他申請 2件
有期再認定請求 6件

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
中長期的な課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定

## 5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

## 6.改善の方向性

--	--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 119p

大事業名	児童手当支給事業	項		
		民生費	児童福祉費	児童措置費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にすまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援サービスの充実		
総合戦略			[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	児童手当・特例給付に関する新規認定・異動処理・現況届等、支給に関する事務
対象	中学校修了まで（15歳に達する日以後の最初の3月31日まで）の児童を養育する者
意図・目的	児童を養育している者に当該手当を支給し、家庭等における安定に寄与するとともに、次代を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 児童手当支給事業	児童手当法に基づき、受給対象者に対し児童手当・特例給付を支給する。	184,433	183,928	157,369

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

児童手当法に基づき、中学生までの児童を監護する受給者への手当の支給により、児童の健やかな成長に資することができた。  
 ・支給対象児童数 延べ16,191人（児童手当：14,870人、特例給付：1,321人）  
 （6月定期5,478人、10月定期5,081人、2月定期5,319人、随時払い313人）

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

**A**  
 A：各小事業について計画どおりに進めることが必要  
 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要  
 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 福祉課  
決算書 103p

大事業名	臨時福祉給付金（経済 対策分）給付事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合 計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連 指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	当該給付金の支給。
対象	平成28年度分の住民税が非課税（課税者の扶養親族となっている方を除く）の方。
意図・目的	消費税率引き上げ（8%→10%）に伴う低所得者に対する配慮及び社会全体の所得と消費の底上げ。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 臨時福祉給付金（経済 対策分）給付事業	給付及びそれに付随する事務。（H28年度からの繰越事業）	100	41,797	41,797

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

・15,000円／人を2,489人に支給。
-----------------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の 課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的 な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 決算書 保険課 99p

大事業名	国民健康保険特別会計事業勘定繰出金事業	款 項 目		
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・共同によるまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安定的な行財政運営の推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	持続可能な財政運営		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	国民健康保険法により、一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を図る。
対象	国民健康保険事業対象者
意図・目的	一般会計からの繰出しを行い、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計事業勘定繰出金事業	国民健康保険繰出金について、繰出基準に基づき、一般会計からの繰り入れを行う。	163,284	156,967	89,380

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

国民健康保険法により、一般会計からの基準内のみの繰出しにより、国民健康保険特別会計事業勘定の財政基盤安定化を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書保険課  
107p

大事業名	款		項	目
	民生費		社会福祉費	老人医療助成費
老人医療費助成事業	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	高齢者福祉の充実		
	総戦略			
	個別計画			

## 1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図る。
対象	65歳以上の障害者医療費助成、ひとり親家庭医療費助成などの支給要件を満たす者、自立支援医療受給者証(精神通院)、結核にかかる医療の患者票、特定疾患医療受給者証、特定疾患登録者証を所持する者。
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、必要な医療受診を容易にし、健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 老人医療費助成事業	65歳以上で障害者医療の要件等を満たす者に対し、医療費自己負担分の一部を助成する。	40,578	42,645	20,769

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、医療を適正かつ容易に受けることができ、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

## 老人医療費公費負担の状況

保険種別	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
国保	100人	3,255件	162,052,610円	1,387,472円	16,139,397円
社保	24人	866件	34,168,942円	378,127円	3,719,104円
後期	255人	8,533件	186,478,038円	3,582,374円	25,390,537円
収入および戻入					△3,139,903円
合計	379人	12,654件	382,699,590円	5,347,973円	42,109,135円

平成30年3月末現在

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

## 6.改善の方向性

--

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
保険課  
111p

大事業名	障害者医療費助成事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	障害者医療助成費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

### 1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び生活の安定に寄与し、福祉の増進を図る。
対象	身体障害者手帳（1級、2級）、療育手帳（A）、療育手帳（B）と身体障害者手帳の両方の判定をされた者
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害者医療費助成事業	身体・知的障害者（児）に対し、医療費本人負担額の一部を助成する。	16,289	16,301	8,428

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、医療を適正かつ容易に受けることができ、健康の保持及び福祉の増進を図ることができた。

#### 障害者医療費公費負担の状況

保険種別	対象者数	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
国保	82人	1868件	58,161,238円	1,023,458円	8,750,130円
社保	41人	986件	53,393,721円	470,599円	6,572,496円
収入および戻入					△749,654円
合計	123人	2,854件	111,554,959円	1,494,057円	14,572,972円

平成30年3月末現在

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進める必要がある</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

### 6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 111p

大事業名	目	項	款
ひとり親家庭医療助成事業	ひとり親家庭医療助成費	社会福祉費	民生費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支えある温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
	個別計画			[その他]
総合戦略				

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図る。
対象	ひとり親家庭の父又は母及び児童、養育者及び養育者が養育する児童
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と児童の健全な育成を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 ひとり親家庭医療助成事業	ひとり親家庭の父・母及び児童と養育者に対する医療費の助成	4,034	3,565	1,898

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、医療を適正かつ容易に受けることができ、生活の安定と児童の健全な育成を図ることができた。

ひとり親家庭医療費助成状況

区分	対象者	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
親	60	757	9,982,744	345,117	2,450,287
児童	96	604	4,537,640	262,718	995,647
計	156	1,361	14,520,384	607,835	3,445,934

平成30年3月末現在

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	事業内容	
現状の課題	無	無	
	無	無	
	無	無	
中長期的な課題	無	無	
	無	無	
	無	無	

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 113p

大事業名	子ども医療費助成事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	子ども医療助成費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支えある温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	対象者にかかる医療費の一部を助成することにより、乳幼児等の健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図る。
対象	乳幼児及び児童（満18歳に達した日以降における最初の3月末日を経過するまでの者）
意図・目的	対象者の医療費の一部を助成することにより、健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 子ども医療費助成事業	対象：0歳～満6歳の就学前児童および小学校1年生～高校3年生（満18歳年度末を迎えるまでの者）入院、通院の医療費助成	29,140	25,625	10,310

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

対象者の医療費の一部を助成することにより、医療を適正かつ容易に受けることができ、乳幼児等の健全な育成に寄与し、児童福祉の向上を図ることができた。

乳幼児等医療費助成状況

区分	対象者	件数	総医療費	一部自己負担額	公費負担額
町	1292	9,847	97,693,747	5,067,008	20,427,836
府	250	2,711	30,679,490	1,289,932	4,236,078
計	1,542	12,558	128,373,237	6,356,940	24,663,914

平成30年3月末現在

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 113p

事業名	未熟児養育医療給付事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	未熟児養育医療助成費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	子育て支援環境の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療育の給付を行い、児童福祉の向上を図る。
対象	養育のため病院又は診療所に入院治療が必要な未熟児及び結核児童
意図・目的	対象者に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療育の給付を行い、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 未熟児養育医療給付事業	身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする者に対して、その治療に必要な医療費を給付する。	476	393	244

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、医療の給付を行うとともに、結核児童に対して療育の給付を行い、児童福祉の向上を図ることができた。

未熟児養育医療費助成状況

件数	総医療費	乳幼児等医療費公費負担分	一部自己負担額	公費負担額
2	5,050,890	681,584	1,242	327,312

平成30年3月末現在

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 115p

大事業名	後期高齢者医療特別会計繰出金事業	項 目		
		款 民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略				
個別計画				[その他]

1.概要

事業内容	高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図る。
対象	後期高齢者医療特別会計
意図・目的	後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定のため、一般会計からの繰出しを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 後期高齢者医療特別会計繰出金事業	特別会計への繰出し(事務費・基盤安定)	48,927	51,038	35,324

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

高齢者の医療の確保に関する法律により、一般会計からの繰出しを行い、後期高齢者医療特別会計の財政基盤安定を図ることができた。

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 115p

大事業名	大阪府後期高齢者医療広域連合負担金事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	後期高齢者医療費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略			
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	後期高齢者医療の資格管理、給付、保険料賦課などの事務を行う、大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払う。
対象	大阪府後期高齢者医療広域連合
意図・目的	大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 大阪府後期高齢者医療広域連合負担金事業	後期高齢者医療広域連合負担金(共通経費) 後期高齢者医療療養給付算定率負担金	239,929	277,636	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

大阪府後期高齢者医療広域連合に対して負担金を支払うことにより、後期高齢者医療の適正な事業運営が行われた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A:各小事業について計画どおりに進めることが必要 B:小事業について、事業の進め方に改善が必要 C:小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
保険課  
121p

大事業名	款		項	目
	民生費		国民年金費	国民年金事務取扱費
国民年金事業	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で支えある温もりのある福祉社会づくり		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	地域福祉の推進		
	総合戦略			
	個別計画			[その他]

### 1.概要

事業内容	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図る。
対象	国民年金事務対象者
意図・目的	日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を目的とする。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 国民年金事業	国民年金第1号被保険者に係る届出の受理及び報告等、法定受託事務を行う。 住民の年金権の確保・福祉の向上に寄与する。	366	80	37

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

日本年金機構との連携により、国民年金に関する窓口業務を行い、国民年金事務の円滑な運営を図ることができた。

区分	加入総数	男	女
1号	2,181人	1,114人	1,067人
任意加入	56人	11人	45人
合計	2,237人	1,125人	1,112人

平成30年3月末現在

資格関係	件数
資格関係	342件
免除・猶予・学特申請等	686件
給付関係	175件
その他	285件
合計	1,488件

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	費用対効果		
現状の課題	無	無		
	無	無		
	無	無		
中長期的な課題	無	無		
	無	無		
	無	無		

### 5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

### 6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 105p

大事業名	科目	項	目
介護保険特別会計事業勘定繰出金事業	民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実	
	施策	高齢者福祉の充実	
	総合戦略		
個別計画			

1.概要

事業内容	一般会計から介護保険特別会計事業勘定への繰出金を繰出すものです。
対象	介護保険特別会計事業勘定 歳入
意図・目的	介護保険特別会計について、人件費を含む総務費などの諸経費分を一般会計から繰出しを行い、介護保険特別会計事業勘定の財政基盤安定を目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 介護保険特別会計事業勘定繰出金事業	介護保険給付費の町負担額、事務員及び給与費、介護保険システム改修費について一般会計から介護保険特別会計への支出を行う。	329,642	285,577	2,097

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

人件費、システム改修費用など国・府から示されている繰出し基準に則って繰出金事業を実施したことにより、介護保険特別会計事業勘定の財政的安定が図れた。

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 保険課  
決算書 123p

大事業名	国民健康保険特別会計診療	款	項	目
	施設勘定繰出金事業	衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費

総合計画	政策	住民と行政との信頼・共同によるまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安定的な行政財政運営の推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	持続可能な財政運営		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	一般会計から国民健康保険特別会計診療所施設勘定への繰出金の繰出し
対象	国民健康保険特別会計診療所施設勘定 歳入
意図・目的	国保直営診療所運営に係る人件費などの赤字額を補てんすることで、診療所施設勘定の安定を図る

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 国民健康保険特別会計診療所施設勘定繰出金事業	診療所施設勘定の安定を図るため、国保直営診療所運営に係る人件費などの赤字額を一般会計より繰出す	24,140	38,192	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

患者数について、歯科診療では昨年度より若干下回ったものの、内科診療では派遣診療も3年目を迎えて軌道に乗り、昨年度に引き続き順調に増加し内科・歯科合計でも増加した。引き続き薬剤整理にも取り組み無駄な支出を抑えることにより赤字額を減らすことができた。

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	事業内容	
現状の課題	有	施設や設備の老朽化により、これまでの人件費補てんだけではまかないことが予想される。	建設に係る起債償還は完了したものの32年を経過した建物は大規模補修の必要な箇所が多く、レントゲンなどの医療備品も耐用年数を大きく超えており、医療事故の未然防止の観点からも更新が必要な状況にある。
中長期的な課題	無	大阪府の地域医療構想に謳われている在宅医療を推進することが、直営診療所を有する保険者には特に求められている。	現在の内科派遣診療ではなく、医師が常駐して診療を行う体制を図るべきものと考えられる。建物の改築をはじめハード面、ソフト面に2025年問題と合わせた中長期的計画が未決定である。
	有		
	有		

5.総合評価

D	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

内科は派遣診療となっており、最も効果的な人件費支出となっているが、現行の週3回（月・水・金）を従前の週5回体制に戻すことや、民間医院が不在である東地区において本診療所が今後の医療拠点としての安定した継続性、在宅医療推進のために関係医療法人等と協働を重ね指定管理や医師派遣、民営化など様々な視点で引き続き検討を行う。

歯科については医師、歯科衛生士とも正職員であるため、診療収入では人件費を賄うこともできず、施設の赤字原因の大きな要因となっている。これからの歯科診療のあり方を検討し、歯科衛生士を非常勤に見直すなど人件費の抑制を図ることで効率的な運営が図れるものと思われる。

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 103p

大事業名	在宅障害者支援事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	障害者（児）福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画	第3期豊能町障害者計画・第4期豊能町障害福祉計画		[その他]	

1.概要

事業内容	障害者の自立と社会参加に資するための施策。
対象	支援を要する住民
意図・目的	障害者総合支援法や豊能町障害者計画等に基づき、障害者の自立と社会参加に資するため、障害福祉サービス等の利用や障害者の日常生活を支援することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 在宅障害者支援事業	外出支援事業、紙おむつ給付事業	46	15	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

1.外出支援事業 登録者 2名
-----------------

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 103p

大事業名	地域福祉支援事業		款	項	目
			民生費	社会福祉費	社会福祉総務費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]		
	基本施策	地域で支え合う温もりのある福祉社会づくり			
	施策	地域福祉の推進	[総合戦略(目標年度H31)]		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援			
個別計画	第3次豊能町地域福祉計画・第3次地域福祉活動計画	[その他]			

1.概要

事業内容	各福祉関係団体との連携・協力により、援助を必要としている住民に対しての地域福祉ネットワークを構築する。
対象	住民（要介護者）
意図・目的	地域に住み、地域を良く知る住民が主体的に参加・参画し、互いに協働できる「地域福祉の仕組み」を作ることで、地域で支え合う温もりのある福祉社会づくりを構築する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 地域福祉支援事業	豊能町社会福祉協議会の運営補助、ボランティア育成のための講座等委託。	23,129	23,749	10,453

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

福祉関係機関（社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等）と連携し、生活弱者の福祉の向上に寄与することができた。 町社会福祉協議会支援事業 22,249,000円 町ボランティア事業 1,500,000円
---

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	有	地域福祉ネットワークの維持及び向上	地域福祉に対するニーズの高まり
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

関係各機関とより連携を図る。
----------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 103p

大事業名	障害児相談事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	社会福祉総務費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	障害者(児)福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 選べることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画	第3期豊能町障害者計画・第4期豊能町障害福祉計画	[その他]		

1.概要

事業内容	障害者の日常生活を支援する地域生活支援事業の実施
対象	支援を要する住民
意図・目的	地域生活支援事業を実施することにより、障害者の日常生活と社会参加を支援する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 障害児相談事業	作業療法、言語聴覚療法などにより、本人及び家族から相談を受け障害に対し有効な生活動作や日常生活上の注意点などのアセスメントを行う。	864	1,080	657

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

障害者の日常生活への支援
かがやき相談（乳幼児） 171件

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 105p

大事業名	款	項	目
デイサービスセンター管理事業	民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画				

1.概要

事業内容	老人デイサービスセンターの適正な維持管理
対象	老人デイサービスセンター
意図・目的	老人デイサービスセンター利用者が、支障なく施設を利用できるよう、施設を適正に管理・運営を行う。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 デイサービスセンター管理事業	生き生きデイサービスセンターの施設管理	553	3,138	1,793

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●施設利用状況	
・開所日数	244日
・延べ利用者数	2,342人
・利用者数（1日あたり）	9.6人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

森皇

5.総合評価

<b>B</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・老朽化に伴い、修理が必要なものは指定管理者と協議の上、計画的に施設設備の改修を行う。
---

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 105p

大事業名	在宅高齢者支援事業		
	民生費	社会福祉費	老人福祉費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実	
	施策	高齢者福祉の充実	
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	
個別計画			

1.概要

事業内容	在宅高齢者の外出支援、安否確認や緊急時の通報等の事業を行う。
対象	在宅高齢者
意図・目的	在宅高齢者支援事業を行うことで、在宅高齢者が自立した生活を送ることができるよう、身体的、精神的な負担の軽減を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 在宅高齢者支援事業	高齢者等外出支援事業、見守り事業、紙おむつ給付事業、緊急通報装置貸与事業	9,180	9,592	2,966

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●主な事業実施状況	
紙おむつ給付事業	利用者数 9人
在宅高齢者見守り事業	利用者数 79人
在宅高齢者外出支援事業	登録者数 306人 延べ利用回数 5,758回(全体)
外出支援委託事業(おでかけくん)	延べ利用回数 1,653回
豊能町在宅高齢者緊急通報装置貸与事業	利用者数 46人

4.課題整理

課題の有無	課題の内容		要因の特定
	進捗管理	無	
現状の課題	有	在宅高齢者支援事業について、行政サービスとしてのあり方。	民間サービスの利用が増えている。
中長期的な課題	有	在宅高齢者支援事業について、行政サービスとしてのあり方。	民間サービスの利用が増えている。

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

・官民連携による更なる住民サービスの充実・利便性の向上を目指す。
----------------------------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 107p

大事業名	長寿お祝事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画				

1.概要

事業内容	高齢者を敬愛し、長寿をお祝いする「敬老のつどい」の開催。
対象	65歳以上の町民
意図・目的	高齢者の生活の向上と、高齢者福祉の推進を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 長寿お祝事業	敬老のつどい、お祝品贈呈等、敬老に関する施策の実施	1,167	1,145	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<ul style="list-style-type: none"> <li>●最高齢者（男女各1名）と米寿と白寿へのお祝い品を配布。</li> <li>●平成28年度末で退任された老人クラブの会長へ感謝状を贈呈。</li> <li>●敬老のつどい開催実績（第1部：式典、第2部：余興の2部構成）</li> </ul>	
開催日時	平成29年9月7日（水）
開催場所	ユーベルホール
参加人数	当日約350名（事前申し込み267名）

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 107p

大事業名	老人クラブ支援事業	目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	高齢者福祉の充実		[その他]
	総戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		
個別計画				

1.概要

事業内容	町老人クラブ連合会への支援
対象	豊能町老人クラブ連合会
意図・目的	町老人クラブ連合会への支援等を通じて、高齢者自らの活動を促進し、生きがいづくりの推進、高齢者福祉の推進を図ることを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 老人クラブ支援事業	高齢者の生きがいづくりの推進、町老人クラブ連合会の活動支援	1,059	1,050	633

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●老人クラブ支援に要した主な経費 町老人クラブ連合会補助金 1,000,000円 主な活動内容 友愛訪問（90歳以上のクラブ会員） SC大阪囲碁、将棋大会、グラウンド・ゴルフ大会 参加 「ねんりんTOYONO」第29号、第30号発行 歌の祭典（カラオケ大会）の開催 北摂第一ブロック囲碁・将棋、グラウンドゴルフ大会 参加 「ごみゼロの日」、「社会奉仕の日」の実施 毎月1回程度 とよのSCウォーキングを東西地区交互で実施
---

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	永寿荘管理事業	項 目		
		民生費	社会福祉費	老人福祉センター運営費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	高齢者福祉の充実		
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援		[その他]	
個別計画				

1.概要

事業内容	老人福祉センター永寿荘の適正な維持管理
対象	老人福祉センター永寿荘
意図・目的	老人福祉センター（永寿荘）の適正な維持管理を図ることにより、高齢者相互の交流を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 永寿荘管理事業	永寿荘の適正な維持管理	2,568	2,239	10
2 永寿荘改修事業	点検の際に指摘があった受水櫃について使用不可能になるため、直接給給水管を接続する工事を行う。 修理不能となっている冷暖房設備の改修を行う。	299	984	984

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

<p>●施設利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開所日数 243日</li> <li>・延べ利用者数 4,366人</li> <li>・利用者数（1日あたり） 18人</li> </ul>
---

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による。（昭和53年9月開館）
	費用対効果	有		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による。（昭和53年9月開館）
	費用対効果	有		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
---	--

6.改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が老朽化しているため、計画的に施設設備の改修を行う。</li> </ul>
---

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 109p

大事業名	豊寿荘管理事業	款	項	目
		民生費	社会福祉費	老人福祉センター運営費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援		
個別計画			[その他]	

1.概要

事業内容	老人福祉センター豊寿荘の適正な維持管理
対象	老人福祉センター豊寿荘
意図・目的	老人福祉センター豊寿荘の適正な維持管理を図ることにより、高齢者相互の交流を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 豊寿荘管理事業	豊寿荘の適正な維持管理	6,205	6,093	721

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●施設利用状況	
・開所日数	242日
・延べ利用者数	16,041人
・利用者数(1日あたり)	66人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による。(昭和61年開館)
	費用対効果	有		
	進捗管理	有		

5.総合評価

<b>B</b>	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

・施設が老朽化しているため、計画的に施設設備の改修を行う。
-------------------------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 111p

大事業名	老人憩の家管理事業	款 項		
		民生費	社会福祉費	老人憩の家運営費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		
	基本施策	安心できる福祉の充実		
	施策	高齢者福祉の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティカの維持・強化の支援		
個別計画		[その他]		
		[総合計画(目標年度H32)]		
		[総合戦略(目標年度H31)]		

1.概要

事業内容	老人憩の家の適正な維持管理
対象	老人憩の家
意図・目的	老人憩の家の適正な維持管理を図ることにより、高齢者相互の交流を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 老人憩の家管理事業	老人憩の家の適正な維持管理	865	752	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●施設利用状況	
・開所日数	246日
・延べ利用者数	2,271人
・利用者数（1日あたり）	9.2人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による(昭和54年6月閉館)
	費用対効果	有		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による(昭和54年6月閉館)
	費用対効果	有		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・ふれあい文化センターとの統合協議の進捗を踏まえ、あり方により必要な施設設備の改修を行う。
---

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 123p

大事業名	保健康衛生推進事業		款	項	目
			衛生費	保健衛生費	保健衛生総務費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり			[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	生涯健康づくりの推進			
	施策	健康づくり等の充実			[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進			
個別計画				[その他]	

1.概要

事業内容	保健衛生関連団体への費用負担及び補助を行う。
対象	保健衛生関連団体
意図・目的	費用負担及び補助を行うことにより、保健衛生関連団体の適正な運営に寄与する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 保健衛生推進事業	保健衛生関連団体の費用負担及び補助	2,076	1,604	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●保健衛生関連団体への費用負担及び補助の実績	
・府公衆衛生協会負担金	10,000円
・豊能地域救急医療対策運営費負担金	814,051円
・豊能広域子ども急病センター管理運営費負担金	638,802円
・町食生活改善推進員協議会補助金	141,000円

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

<b>A</b>	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
----------	---

6.改善の方向性

--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 125p

大事業名	成人健康増進事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	予防費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	生涯健康づくりの推進	
	施策	医療体制の整備	
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進	
個別計画			

1.概要

事業内容	各種がん検診や住民健診等の成人保健事業を実施する。
対象	20歳以上の住民
意図・目的	住民の健康増進のため、疾病の予防または早期発見を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 成人健康増進事業	各種がん検診、結核検診、肝炎検査、骨密度測定、歯科検診、住民健診、健康相談、栄養講座を実施する	48,286	46,009	2,421
2 健康づくり推進事業	毎月25日をウェルネスウォーキングの日とし、健康づくりのきっかけとしてウォーキングの機会を提供する。	10	313	0
3 住民・大学・行政の連携による健康づくり推進事業	大学・行政が連携し、町内の1地区をモデル地区として新しい高齢者施策に取り組む。	0	500	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●各種検診（受診者数）			
・胃がん検診	659人	・肝炎検査	0人
・骨粗しょう症検診	360人	・子宮がん検診	459人
・乳がん検診	527人	・成人歯科検診	409人
・基本健診	36人	・肺がん検診	778人
・大腸がん検診	816人	・結核健診（個別）	3,349人
●がん検診無料クーポン利用者数（内数） 33人			
●ウェルネスウォーキング			
・開催回数	9回、新規登録者	31人、延べ参加者数	366人、平均参加者数
●武庫川女子大学と連携した健康まちづくり事業			
・開催回数	8回、延べ参加者数	252人	

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	有	成人健康増進事業・・・若年層のがん検診受診者が少ないこと。	成人健康増進事業・・・実施日の設定方法、若年層へのがん検診受診に対する意識
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	有	成人健康増進事業・・・国の指針に基づく様々な検診方法への対応	成人健康増進事業・・・検診を委託できる事業者・医療機関の確保
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>・成人健康増進事業・・・検診受診可能年齢の引き下げや、未受診者へのはがきによる勧奨を行う。</p>
--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書

健康増進課  
125p

大事業名	予防接種推進事業	款 項 目		
		衛生費	保健衛生費	予防費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	医療体制の整備		[その他]
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進		
個別計画				

1.概要

事業内容	予防接種法及び結核予防法に基づく予防接種を実施する。
対象	法で定められた接種対象者
意図・目的	感染の恐れがある疾病の発生及び蔓延を予防する。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 予防接種推進事業	子どもの予防接種、高齢者の予防接種ほか、予防接種法および結核予防法に基づく予防接種。	37,256	35,548	592

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●予防接種実績

【A類疾病】MR I期	42人	MR II期	60人	日本脳炎	270人
二種混合	67人	不活化ポリオ	0人	四種混合	162人
水痘	96人	ヒブ	139人	小児用肺炎球菌	144人
BCG	48人	B型肝炎	132人		
【B類疾病】高齢者インフルエンザ	3,961人、		高齢者肺炎球菌	861人	

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		
中長期的な課題	事業内容	無		
	費用対効果	無		
	進捗管理	無		

5.総合評価

A	A：各小事業について計画どおりに進めることが必要 B：小事業について、事業の進め方に改善が必要 C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D：大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

6.改善の方向性

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 127p

大事業名	母子健康増進事業		
	衛生費	保健衛生費	母子衛生費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	安心して働ける子育て支援の充実	
	施策	子育て支援環境の充実	
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	
個別計画			

1.概要

事業内容	各種健診、健康相談等を実施する。
対象	妊産婦及び乳幼児
意図・目的	乳幼児の疾病早期発見、健康増進、育児不安・虐待を予防することを目的とする。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 母子健康増進事業	妊産婦や乳幼児に対する各種健診、健康相談や教室の実施、費用助成	8,012	8,331	159

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

妊婦一般健診		乳幼児健診	
母子手帳発行数	受診者数	回数	受診者数
45人	533人	4か月児健診 12回	42人
乳児一般、乳児後期健診		1歳6か月児健診 4回	55人
	受診者数	2歳6か月児健診 4回	76人
乳児一般	30人	3歳6か月児健診 4回	67人
乳児後期	38人	*受診者数は延べ人数	

妊産婦・乳幼児の疾病の早期発見、健康増進、育児不安や虐待の予防を図ることができた。

4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	個別ケースへの対応の充実
	事業内容	有	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	無	個別ケースへの対応の充実
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

5.総合評価

<b>B</b>	<p>A：各小事業について計画どおりに進めることが必要</p> <p>B：小事業について、事業の進め方に改善が必要</p> <p>C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要</p> <p>D：大事業全体の抜本的な見直しが必要</p>
----------	--

6.改善の方向性

<p>・健診日に受診できない場合は、他の事業時に母子の様子を確認したり、個別訪問を行うなどして、かわりを持つようにする。</p> <p>また、妊娠期から出産、子育て時期において、切れ目のない支援することを目的に子育て世代包括支援センターを立ち上げ、関係機関との連携を図る。</p>
--

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 127p

大事業名	款		項	目
	衛生費		保健衛生費	保健福祉センター運営費
総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり		[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	生涯健康づくりの推進		
	施策	健康づくり等の充実		
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進		
個別計画				

1.概要

事業内容	保健福祉センターの適正な維持管理及び運営を行う。
対象	保健福祉センター施設
意図・目的	施設を適正に維持管理し、運営することにより、住民の健康づくりを推進する各種保健事業等を円滑に遂行することができる。

2.構成事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 保健福祉センター管理事業	施設の適正な維持管理、運営	5,172	5,643	382
2 公用車買替事業	アップル(平成9年5月19日登録 66,648km)の廃車及びプレオ(平成10年11月30日登録 68,298km)の買い替えを行う。	0	1,089	0
3 保健福祉センター修繕事業	点検時に指摘のあったエレベーターとキュービクルの修繕を行う。	0	640	0
4 子育て支援環境整備事業	保健福祉センター来所者用におむつ交換台や授乳スペースを設ける。	0	409	0

3.主な成果(実績や事業の状況、意図・目的の達成度)

●保健福祉センター管理に要した主な経費	
・電気、水道、ガス代(光熱水料費)	2,765,708円
・施設修繕料	235,828円
・電話代(通信運搬費)	320,349円
・施設設備等保守管理	1,061,552円
・施設設備等清掃	369,312円
・施設機械整備	382,320円

4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
現状の課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		
中長期的な課題	事業内容	無	設備等の改修への対応	施設の老朽化による
	費用対効果	無		
	進捗管理	有		

5.総合評価

B	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

・施設が老朽化しているため、計画的に施設設備の改修を行う。
-------------------------------

H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 健康増進課  
決算書 137p

大事業名	シルバー人材センター支援事業	款 項	
		労働費	労働諸費

総合計画	政策	元気で暮らせる支え合いのまちづくり	関連指標 [総合計画(目標年度H32)] [総合戦略(目標年度H31)] [その他]
	基本施策	安心できる福祉の充実	
	施策	高齢者福祉の充実	
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (3) 新しい地域のしごとづくりへの支援	
個別計画			

1.概要

事業内容	シルバー人材センターへの補助金の交付。
対象	シルバー人材センター
意図・目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の増大を図る。

2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センターへの補助金交付	3,740	3,740	0

3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

●シルバー人材センターへの補助金	3,740,000円
町シルバー人材センターの状況	
・会員の状況	
会員数 (H30.3.31現在)	男 101人 女 25人 計 126人
平均年齢	男 71.8歳 女 68.1歳 計 71.1歳
就業延べ人数	8,493人

4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
現状の課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進捗管理	無		
	事業内容	無		
	費用対効果	無		

5.総合評価

A	A: 各小事業について計画どおりに進めることが必要
	B: 小事業について、事業の進め方に改善が必要
	C: 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
	D: 大事業全体の抜本的な見直しが必要

6.改善の方向性

--